

2018年2月1日

企業会計基準委員会と米国財務会計基準審議会の代表者による定期会合の開催

企業会計基準委員会
米国財務会計基準審議会

企業会計基準委員会（ASBJ）と米国財務会計基準審議会（FASB）の代表者は、2018年1月31日と2月1日に、東京で会合を開催しました。この会合は、高品質でグローバルな会計基準の開発へ向けて連携を深めるために、ASBJとFASBが年に2回、定期的に行っているもので、今回で23回目となりました。

会合では、お互いの活動の最新の状況を確認するとともに、両基準設定主体が関心を有している項目である「財務諸表の表示及び開示」、「概念フレームワーク」、「金融商品の減損」及び「リース」等について議論を行いました。

ASBJとFASBは、引き続き、意見交換を続けていく予定であり、次回の会合は2018年の8月にノーウォークで開催する予定です。

小賀坂敦ASBJ副委員長は次のように述べています。

「両基準設定主体が関心を有する項目について建設的な議論を行うことは、高品質な会計基準の開発に貢献するものと考えます。今回の会議において、国際的にも関心が高い財務諸表の表示及び開示、並びに新しい会計基準に関する適用上の論点等について理解を深めることができたことは、非常に有意義なことであった。」

ラッセル・ゴールドデンFASB議長は次のように述べています。

「ASBJとの会合により、両基準設定主体が関心を寄せる事項に対する理解が深まり、財務報告に係る論点に対する最善の解決策を見出すことにも寄与するものと考えています。このような意見交換は、会計基準のさらなる改善を通じて、両国の利害関係者や資本市場にも便益をもたらすこととなるだろう。」

企業会計基準委員会（ASBJ）について

ASBJは、2001年7月に民間部門の機関として設立された。ASBJが開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJは、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJは、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJに関する詳細な情報は、ホームページ<https://www.asb.or.jp/>をご参照いただきたい。

米国財務会計基準審議会（FASB）について

FASBは、1973年に設立された、一般に認められた会計原則（GAAP）に従う公開企業、非公開企業及び非営利組織のために財務会計及び財務報告の基準を設定する独立の民間の機関であり、コネチカット州ノーウォークに拠点を置いている。FASBは、米国証券取引委員会（SEC）により、公開企業のための指定された会計基準設定主体として認識されている。FASBの基準は、各州の公認会計士審査会及び米国公認会計士協会（AICPA）を含む、その他の多くの組織により権威のあるものとして認識されている。FASBは、投資家その他の財務報告書の利用者に有用な情報を提供する財務報告を促進することを意図した、透明性があり、誰でも参加できるプロセスを通じて、財務会計の基準を開発し、公表している。米国財務会計財団（FAF）は、FASBの支援及び監督を行う。詳細な情報は、ホームページwww.fasb.orgをご参照いただきたい。